

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成 21 年 3 月 11 日

①	研究テーマ	ムラサキイガイ回収による環境改善効果の評価						
②	目的	大阪湾の湾奥部の岸壁に大量に付着するムラサキイガイは、生存中は懸濁物質を吸収し水質浄化に寄与しているが、毎年、岸壁より大量に脱落し海底で斃死し、底層の酸素を消費し、青潮発生の原因となり、マイナスを生じさせている。大阪湾においては、底魚が棲める、青潮が発生しないなど生物多様性を回復させるための環境創造が必要であり、本研究では、ムラサキイガイの回収による湾奥部の環境改善効果を定量的に把握し、ムラサキイガイ回収事業への指針を得る。						
③	活動内容	大阪湾の湾奥の垂直護岸部に広く生息するムラサキイガイの回収・計測調査を、5～10 月にかけて実施する。ムラサキイガイが、落下することにより、どの程度、底層の貧酸素化に関与するのか、その落下することを防ぐことにより、どの程度、貧酸素水塊の発生を低減することができるか、いつ頃、どのような方法で成長した個体を回収すれば最も効果的かなどを明らかにし、さらに、ムラサキイガイ回収による大阪湾の環境改善効果の評価を行うとともに、回収事業への指針を得る。						
④	グループの構成	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
世話人		村田 武一郎	会員	沿岸域計画	奈良県立大学・教授			
グループ構成員	中原 紘之	非会員	海洋生態学	京都大学・名誉教授				
	前田 敏	団体会員	海洋土木	東洋建設㈱大阪本店 副本店長兼技術部長				
	麻西 幸二	団体会員	海洋土木	東洋建設㈱大阪本店 技術部部長				
	岩井 克己	団体会員	海域生物	日本ミクニヤ㈱ 大阪支店長				
⑤	日程表	研究期間	平成 21 年 5 月～平成 22 年 3 月		開催頻度	調査:5～10 月の間に 5 回 会議:6 回/年		
		開催場所	調査:大阪湾湾奥部の港湾内護岸 会議:大阪市中央区		⑥ 研究運営費			